

介護職員の業務

改善など進めて

千葉・党船橋市議団

5団体と意見交換会

千葉県の公明党船橋市議団（松寄裕次幹事長）は先ごろ、2日間にわたって市内団体との意見交換会を開

催し、5団体から要望を受けた。

この中で船橋商工会議所の宮津隆久専務理事は、近年、事業所で外国人労働者が増加している現状に言及。マナー研修会の開催など、さらなる支援体制の必要性を強調した。

また、市介護支援専門員協議会の杉田勝会長は、ケアマネジャー（介護支援専門員）について、入院の付き添いや部屋の片付けなど本来の業務を超えた負担が大きくなっていると訴え、改善を求めた。

松寄幹事長は「寄せられた貴重な意見を受け止め、具体的な施策を協議できるよう進めていく」と応じた。



宮津専務理事（左端）から話を聞く党市議団